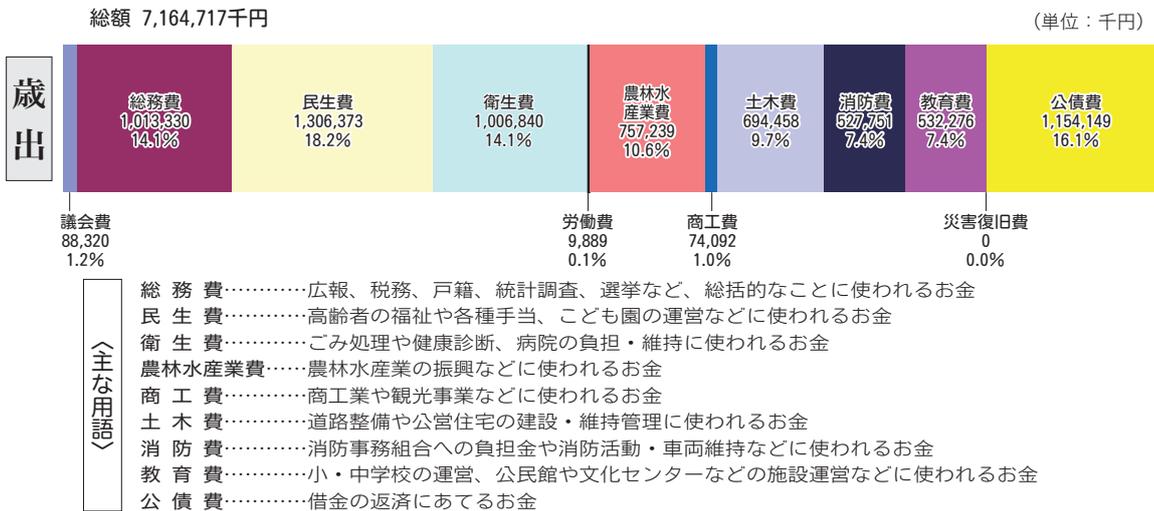
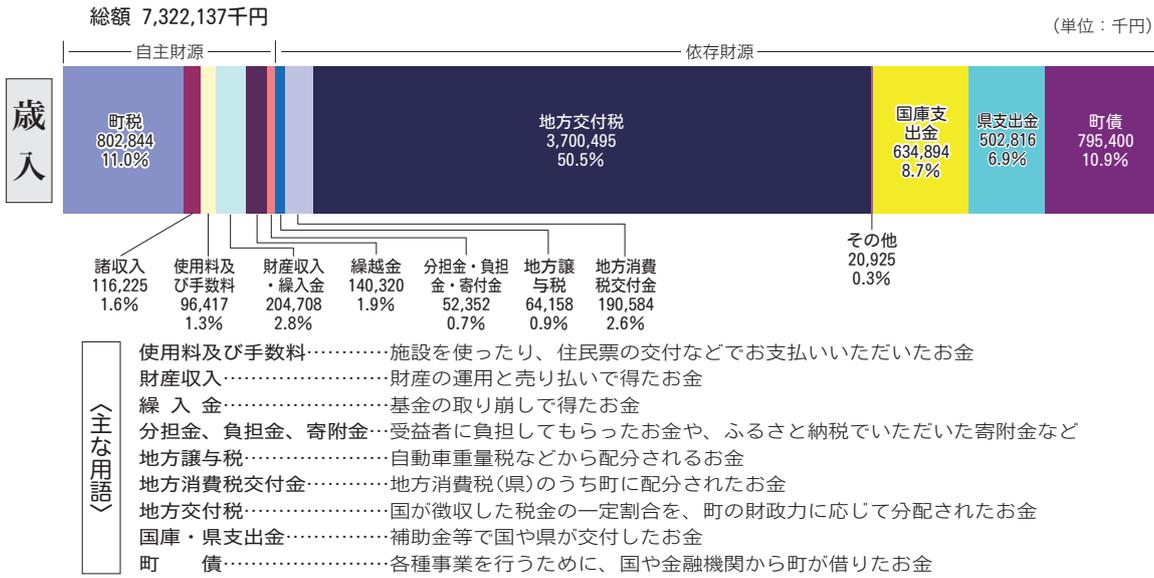


1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります

こんな事業を実施しました

中泊メバ活プロジェクト ～津軽海峡メバルによる 水産観光の創生～

8,903千円

国の地方創生交付金を活用し、津軽海峡メバルによる水産観光の創生に取り組み、中泊メバル膳をはじめとする新・ご当地グルメシリーズや、学校給食へメバル提供、関東地方でのトップセールスなど、「メバル推し」で地域の活性化に取り組んだ。

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成29年度	—	—	9.0%	96.1%
平成30年度	—	—	9.3%	92.6%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

〈各指標の解説〉
 実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。
 連結実質赤字比率……「一般会計」だけでなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。
 実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいくほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。
 将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きいくと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいくということになります。

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	7,322,137,309	7,164,717,118	157,420,191
国民健康保険(事業勘定)	1,861,496,074	1,715,830,600	145,665,474
国民健康保険(診療施設勘定)	143,975,582	143,974,623	959
介護保険事業	1,723,598,471	1,703,185,763	20,412,708
後期高齢者医療事業	261,092,776	260,384,910	707,866
農業集落排水事業	41,307,021	40,576,197	730,824
漁業集落排水事業	22,704,520	22,363,537	340,983
水道事業(収益的)	366,692,121	302,492,156	64,199,965
合計	11,743,003,874	11,353,524,904	389,478,970

こんな事業を実施しました

もみじ団地建設

240,743千円



住宅に困っている所得の低い人を対象とした住宅を整備することで、その人たちの生活の安定と社会福祉の増進を目的に、平成26年度から整備しています。

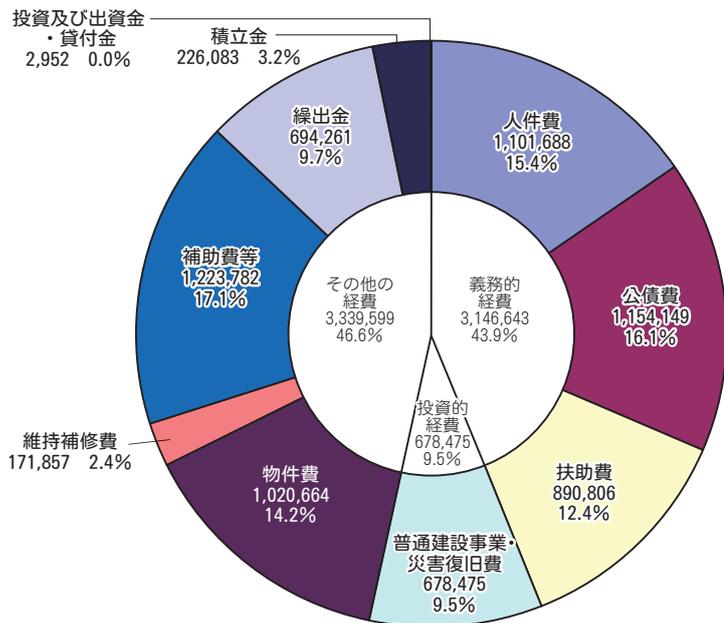


4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。

(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	平成29年度末	平成30年度末	比較増減
一般会計	12,523,740	12,240,533	▲ 283,207
国民健康保険	184,563	166,883	▲ 17,680
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	207,106	183,985	▲ 23,121
漁業集落排水事業	153,205	138,233	▲ 14,972
水道事業(企業債)	2,051,998	1,911,031	▲ 140,967
合計	15,120,612	14,640,665	▲ 479,947

平成30年度

決算特集